

北東アジア動向分析

●中国(東北三省)

新型コロナウイルス影響下の 東北三省経済

新型コロナウイルスの影響下、2020年上半期の東北三省の実質域内総生産（GRP）成長率と実質 GRP は、遼寧省が前年同期比3.9%減の1兆1132.5億元、吉林省が同0.4%減の5441.92億元、黒龍江省が同4.9%減の5250.6億元であった。ちなみに、感染症の影響が最も大きかった2020年第1四半期の実質 GRP 成長率と実質 GRP は、遼寧省が前年同期比7.7%減の5082.07億元、吉林省が同6.6%減の2441.84億元、黒龍江省が同8.3%減の2409.04億元であった。三省ともに全国平均成長率（同9.8%減）を上回ったが、これは湖北省（同39.2%減）が全国平均値を引き下げたため、湖北省を除いた全国平均は下回った。つまり、第1四半期の東北三省経済はコロナウイルスによる経済的な影響を全国のなかでも大きく受けたが、4月以降は徐々に回復傾向にあるといえる。

東北三省の工業生産の動向をみると、2020年1-4月の一定規模以上の工業企業（年間売上高2000万元以上）の付加価値増加率は、遼寧省が前年同期比5.8%減、吉林省が同7.7%減、黒龍江省が同5.9%減であった。上半期をみると、吉林省のみが3.3%増として全国平均（1.3%減）を大きく上回った。遼寧省が前年同期比2.3%減、黒龍江省は同4.0%減となった

が、減少幅は小さくなってきている。

投資動向を示す2020年上半期の固定資産投資額をみると、遼寧省が前年同期比1.9%減吉林省が同7.8%増、黒龍江省が同0.3%増となった。産業別の内訳をみると、遼寧省の第1次産業の固定資産投資額は前年同期比52.3%増、第2次産業は同10.2%減、第3次産業は同0.2%増であった。吉林省の第1次産業の固定資産投資額は同14.1%減、第2次産業は同3.9%増、第3次産業は同9.8%増であった。黒龍江省は上半期の産業別の増減額が公表されていない。

消費の動向をみると、2020年上半期の社会的消費財小売総額は、遼寧省が前年同期比17.0%減、吉林省が同20.0%減、黒龍江省が同22.7%減となり、外出自粛の影響が見て取れる。消費者物価指数（CPI）は、遼寧省が前年同期比3.6%上昇、吉林省が同3.7%上昇、黒龍江省は同3.8%上昇した。

貿易動向をみると、上半期の輸出入額は、遼寧省が前年同期比5.7%減（3268.9億元）、吉林省が2.6%減（621.92億元）、黒龍江省が同15.9%減（788.2億元）となった。

今後の展望

各省でロックダウンが解除され、中国は政策の重点を防疫から景気回復に移した。では、中国の景気回復は始まっているのだろうか。最新状況から今後の見通しを

考察する。

コロナウイルスの影響により、中国の実質 GDP 成長率は2020年第1四半期で前年同期比6.8%減、第2四半期で同3.2%増、上半期で同1.6%減となった。産業別の内訳をみると、2020年第2四半期の第1次産業の成長率は前年同期比3.2%減、第2次産業は同9.6%減、第3次産業は同5.2%減となった。第2四半期の第1次産業の成長率は同3.3%増、第2次産業は同4.7%減、第3次産業は同1.9%減となった。つまり、製造業への影響が最も大きかったということが示された。それは、1-3月に中国国内の工場が正常稼働しなかったのに加えて、世界的な感染拡大の影響により、諸外国との往来や工場の操業停止が続き、中国の輸出企業に深刻な影響を与えたからである。

現在中国は政府主導で政策を次々に打ち出すことにより、工場の操業・生産を再開し、第2四半期の経済成長率は前四半期に比べ、想定を上回ったと示した。世界銀行の最新の世界経済予測（6月8日）では、中国の実質 GDP 成長率を1%としたものの、2021年には再び6.9%になると発表した。国際通貨基金（IMF）は中国の2020年の実質 GDP 成長率を1%、2021年を8.2%と予測している。

ERINA 調査研究部・研究員
董琪

		2018年				2019年				2020年前半期			
		中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江
経済成長率(実質)	%	6.6	5.7	4.5	4.7	6.1	5.5	3.0	4.2	▲1.6	▲3.9	▲0.4	▲4.9
工業生産伸び率(付加価値額)	%	6.2	9.8	5.0	3.0	5.7	6.7	3.1	2.8	▲1.3	▲2.3	3.3	▲4.0
固定資産投資伸び率(名目)	%	5.9	3.7	1.6	▲4.7	5.1	0.5	▲16.3	6.3	▲3.1	▲2.7	7.8	0.3
社会的消費財小売額伸び率(名目)	%	9.0	6.7	4.8	6.3	8.0	6.1	3.4	6.2	▲11.4	▲17.0	▲20.0	▲22.7
輸出入収支	億ドル	3,517.6	▲162.6	▲103.6	▲169.0	4,215.1	▲142.0	▲94.6	▲166.4	1,695.3	▲98.3	▲46.8	▲63.5
輸出伸び率	%	7.1	5.7	8.8	▲16.7	0.5	▲2.6	▲0.6	18.8	▲3.0	▲16.7	▲8.9	4.1
輸入伸び率	%	12.9	16.8	8.5	56.5	▲2.8	▲5.0	▲5.7	4.2	▲3.3	3.2	▲0.4	▲20.0

(注)前年比

工業生産は、一定規模以上の工業企業のみを対象とする。2011年1月には、一定規模以上の工業企業の最低基準をこれまでの本業の年間売上高500万元から2,000万元に引き上げた。

2011年1月以降、固定資産投資は500万元以上の投資プロジェクトを統計の対象とするが、農家を含まない。

2018年以降の貿易データは公表値が元建てであったことから、輸出・輸入の伸び率は公表されている元建て数値の伸び率、貿易収支は元建て貿易収支の数値を人民銀行公表の期末為替レート(2018年12月末:6.8632、2019年12月末:7.0128)によりドル建てに修正したものである。

(出所)中国国家统计局、商務部、遼寧省統計局、吉林省統計局、黒龍江省統計局ウェブサイトならびに黒龍江日報、遼寧日報、吉林日報、人民銀行の資料より作成。